



国家卫生计生委疾病预防控制局 (全国爱国卫生运动委员会办公室)

2018年01度全国法定伝染病情報

国家卫生计生委 www.nhfpc.gov.cn 2018-02-12

2018年01月(2018年01月01日00:00~01月31日24:00)内の、全国(台湾香港マカオは含まず、以下同)の法定伝染病例は827,781例(宮本注:前月は699,850例127,931人増)、死亡者数は1,692名(前月は2,198例;506人減に転)であった。

うち、

A(甲)類伝染病では、ペスト、コレラともに発症・死亡ゼロ、であった。

B(乙)類伝染病はSARS、ジフテリア、ポリオ及びヒト感染高病原性鳥インフルエンザで発症・死亡なし以外、残22種については、発症308,475例(前月は294,397例:14,078人増に転)、死亡1,628例(前月は2,187例:559人減に転)が報告されている。報告されている発症データの病種ワースト5は、ウイルス性肝炎、肺結核、梅毒、淋病と猩紅熱(2か月連続で同順)で、B類伝染病報告総数の96%を占めていた。

同期、C(丙)類伝染病では、フィラリア症では発症・死亡ともにゼロだったが、その他10種の伝染病では、発症数は519,306例(前月は405,452例で113,854増)、死亡は64例(前月は10例で54人増)であった。発症データの3位までの病種は、その他感染性下痢、インフルエンザと手足口病、(インフルエンザが1位になるも病種は同じ)であり、C(丙)類伝染病報告総数の93%を占めていた。

(H7N9 鳥インフルエンザ患者と死亡者について)

1. 国家衛生計生委発表の2017年度月報上では、12か月間累計発症者数は、646人(死者数は269人)となりました。
2. 不思議なことに、2017年10月以後は、散発的に患者が出ているが、第6の波と呼べるものがまだ表れていません。2017年
3. 2017年10月は発症死亡者ともにゼロ、11月は1人(死亡1人)、12月もゼロ、2018年に入ってからは、この1月月報上の1名(新疆で発見、香港が発表)。そして、2月に入ってからは、広東省HFPCが2月11日に中山市での患者発生を報じているものこれまで全く異常な増加と呼べるデータが発表されていません。
4. 中国政府の活動の一つに、動物のサンプル調査で陽性反応が出た場合に、活禽市場を暫時閉鎖するというものがあるようで、これが『活禽への直接暴露機会』を減らしているのかもしれませんが。また、浙江省杭州市では、すでに市内での活禽交易市場は永久閉鎖されていますが、本当にこれだけで、第五波の数百人がほぼゼロになるのか、、、少し「楽観し過ぎ」かもしれません。
5. 現時点で未陥落の省は、青海省、寧夏回族自治区と黒竜江省の3省のみですが、黒竜江省では鳥間の集団発生が見られていますので、次の冬~春季に患者が出てくるという考え方を排除できません。
6. 浙江省、江蘇省、湖南、湖北省、北京市に続き、安徽省も患者のタイムリーな発表を意図的に隠し続けている様ですが、四川省アバ自治州若爾蓋などは刻々と変わる発生の状況をタイムリーに伝えており、これにより『デマ』に惑わされないようにとの工夫をしています。8月になって湖南省CDCは単発患者1名を発表していますので、隠蔽体質の省から外せるかもしれません。もう少し様子見が必要。
7. 1月からのFluTrackersとの情報交換共同作業をする中で、1692号患者(02月13日発表)まで追いかけることができました(7月に中側からFAOに発表された12人と、12月19日にFAOが発表した累計患者数“1691人との差20人”が詳細を確認することができずにいます)。FluTrackersによると、『必ずしもすべての数字がWHOに報告されていない恐れがある』とされています。実際、FluTrackersは、NHFPCや省・市のHFPCやHFPB、それに香港CHPの正式発表をもとに重複排除しており、中国政府当局の作為的な操作があるのかは別にして、乖離があります。中国当局からFAOへの通報、これに基づくFAOの発表についても上で述べたように『謎』の部分が出てきています。これらの患者がどうなったのかは、衛生計生委が毎年行っているB型肝炎患者数や梅毒患者数の操作と同じように『いなかったこと』にされるのかもしれませんが。。患者が少なかったことから情報提供も僅か、それでも弊所からFluTrackersへの情報提供数は384本になりました(as of Feb. 13)。

8. 2014年1月に浙江省 HFPC が発表した『確診患者は日日発表、死亡患者は翌月の月報にて発表。これが乙類伝染病としての管理だ』という内容の記事を弊研究所サイトにアップしています。『2014-01-27 浙江省の H7N9 鳥フル患者死亡者数発表に関して <https://wp.me/p66EIr-2lP> 』をご参照ください。
9. また、家禽の養殖場(採卵用の養鶏場)での集団発生が、3月には湖南省永州市、5月には河北邢台市、河南平頂山市、天津市で発生。6月に入ってからには陝西省榆林市、内モンゴルフフホト市、内モンゴボグト(包頭)市、黒竜江省双鴨山市、そして8月には安徽省滁州市鳥間のアウトブレイクが発生しています(PPTに新たに1枚追加しています)。合計9件目の集団発生。9月以降のアウトブレイク報告はありません。
10. 鳥間での病原性が低病原性から高病原性に変化しているようです(上海復旦大学の研究成果が『ランゼット』感染症』に発表されたようです)が、今後の動向に注目必要ですね。
(⇒See [20180213 中国 H7N9 型鳥インフルエンザ発症者情報](#))

<http://www.nhfpc.gov.cn/jkj/s3578/201802/4a469b9e02a642d08cc33e855fe134a5.shtml>

..... 以下は中国語原文

2018年01月全国法定伝染病疫情概况

国家卫生计生委 www.nhfpc.gov.cn 2018-02-12

2018年1月(2018年1月1日0时至1月31日24时), 全国(不含港澳台, 下同) 共报告法定伝染病 827781 例, 死亡 1692 人。其中, 甲类伝染病无发病、死亡报告。乙类伝染病中伝染性非典型肺炎、白喉、脊髄灰質炎和人感染高致病性禽流感无发病、死亡报告, 其余 22 种伝染病共报告发病 308475 例, 死亡 1628 人。报告发病数居前 5 位的病种依次为病毒性肝炎、肺结核、梅毒、淋病以及猩红热, 占乙类伝染病报告病例总数的 96%。

同期, 丙类伝染病中丝虫病无发病、死亡报告, 其余 10 种伝染病共报告发病 519306 例, 死亡 64 人。报告发病数居前 3 位的病种依次为流行性感冒、其他感染性腹瀉病和手足口病, 占丙类伝染病报告病例总数的 95%。

附件: 2018年01月全国法定报告伝染病发病、死亡统计表

20180212A 中国法定伝染病月報(01月)